



平成26年 第169号
7月号
北里研究所病院だより



特集 神経内科 P2~3

1. 神経内科とはどんな科？
2. 神経内科にかかった方がよいと考えられる症状
3. 神経内科が対象とする主な病気
4. 外来で行っている検査
5. 当院が力を入れている領域

夏の気になる美容対策.....	P1
行事予定.....	P2
頭痛教室レポート.....	P3
認知症の人と家族の集いのご案内.....	P3
白金キャンパス薬学部校舎・北里本館建替のお知らせ.....	P4
看護の日レポート.....	P4
第2回乳がんセミナーレポート.....	P4
病院機能評価の認定.....	P4
退職医師紹介.....	P4

目次

夏の気になる美容対策

形成・美容外科(美容医学) 部長 佐藤 英明



暑い日が続きますが、既に美容対策を始めている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？
今回は、形成・美容外科より夏の美容対策として、治療内容の一部を紹介させていただきたいと思います。

1. 「日焼け」対策

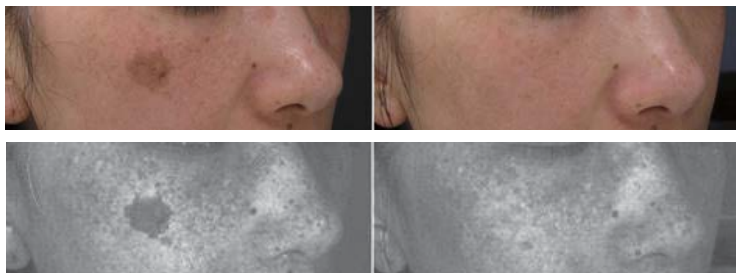
夏の美容対策として、まず思い浮かぶのは「日焼け」対策です。「日焼け」は皆さまご存知のように「シミ」の原因になります。また、「シミ」の他に紫外線による「光老化」といって、肌の「ハリ」を失わせる原因にもなります。

当院では、「マイクロスコープ」や「顔の皮膚画像解析カウンセリングシステム」などを用いて肌の「シミ」「くすみ」「キメ」などを診断し、それぞれの肌に適した治療を提案させていただきます。もちろん、ルビーレーザーやレーザーピーリングを用いた「シミ」の治療も積極的に行っています。昔から一般的に使われている強力なルビーレーザーなどは比較的濃いシミの治療に使われますが、施術後はかさぶたができ、それがはがれ落ちるまで1週間から10日かかります(この期間をダウンタイムといいます)。最近はこのダウンタイムを嫌う方が多く、施術後の紫外線対策も重要となりますので、夏の間は、それ以外の「レーザーピーリング」「ビタミンCイオン導入」などを使用する事が多くなりました。当院では、「シミ」「くすみ」を予防・改善し、また「キメ」「ハリ」を取り戻すためのアドバイスも行っており、肌のトータルな治療をお勧めしていますので、ご相談ください。

ルビーレーザーおよびレーザーピーリングによる治療

治療前

治療後



2. 「汗」対策

夏といえば「日焼け」の他に気になるのが「汗」対策です。今年はドラッグストアなどでも、「汗」対策の商品の売れ行きが好調で、女性に限らず男性の需要も増加しているのが理由のようです。



▲形成・美容外科外来

今回は、特に気になる方が多い「ワキ汗」対策について紹介します。

「ワキ汗」に限らず、自分はとても汗っかきで困るという方、そのような方は「多汗症」という病気の可能性もあります。

「多汗症」自体は、直接的には夏とは関係ありませんが、薄着になるこれからの季節は衣類の汗ばみが目立ってしまうため、気になる方が多いのではないのでしょうか？

そのような方におすすめなのが、「ボトックス」という注射を用いた「汗」の分泌自体を抑える治療方法です。「ワキ(腋窩)多汗症」に対する「ボトックス」治療は保険が適応されることもありますので、どうぞお気軽にご相談ください。

1. 神経内科とはどんな科？

原因が何であっても、神経あるいは筋肉の異常を来す病気や状態で、脳神経外科的に治療（手術）の必要な病気を除いたものが対象（精神的な疾患も除外）となります。もちろん、以下の2.のような症状が出て最最初は原因がわからないわけですから、色々な症状の多くの患者さまが対象となります。また、診断がきちんとついたら、それぞれの治療に適した科への紹介も行います。

2. 神経内科にかかった方がよいと考えられる症状

- ☐ 頭痛
- ☐ 筋肉の力がはりにくい（手足全体、半身、片腕・片脚など）
- ☐ 発作的に手足の力がぬける
- ☐ めまい（目が回る、体がふらつく）
- ☐ 半身のしびれ（感覚がおかしい、脱力など）
- ☐ ものが見えにくい（目の前に霞がかかる）
- ☐ ものが二重に見える
- ☐ 歩きにくい・転びやすい
- ☐ 動きがゆっくりとなった、体がこわばる
- ☐ しゃべり方がおかしい（ろれつがまわらない、しゃべりたい言葉が出てこない）
- ☐ 飲み込みにくい
- ☐ 勝手に体が震えたり動いたりする
- ☐ 顔などの体の一部分の感覚がおかしい（にぶい、しびれ、痛いなど）
- ☐ 物忘れ（記憶の障害）
- ☐ けいれん
- ☐ 意識消失



3. 神経内科が対象とする主な病気

- 脳血管障害（脳梗塞、脳出血） ●頭痛（急性頭痛、慢性頭痛） ●脳炎・髄膜炎 ●パーキンソン病
- 認知症を来す疾患（アルツハイマー症など） ●多系統萎縮症 ●小脳性運動失調などの神経変性疾患
- 末梢神経障害（ギラン・バレー症候群、慢性炎症性多発性ニューロパチーなど） ●多発性硬化症
- 脊髄炎、重症筋無力症 ●筋萎縮性側索硬化症 ●顔面けいれん ●てんかん
- 全身疾患に伴う神経症状筋疾患（筋炎など）

4. 外来で行っている検査

(1) CTスキャン

X線で脳の断面を撮影します。脳の場所によっては見えにくい場所もありますが、出血の有無を見るのに適しており、検査時間が短いことも長所です。また、金属が体内にありMRIが行えない患者さまにも問題なく行えます。

(2) MRI

必要に応じて、頭部、頸椎、胸椎、腰椎などを撮影します。磁気で画像を得るので放射線被爆の心配はありませんが、20～30分ほど時間がかかり、また体内に金属のある患者さまには行えないこともあります。骨による影響がなく鮮明な画像が撮れます。

(3) 頸動脈超音波検査

患者さまに苦痛を与えずに頸動脈の血流を観察できます。脳血管障害（脳梗塞）の患者さまに必須の検査です。

(4) 脳血流シンチグラム (SPECT)

アイソトープ（放射性同位元素を含む薬）を注射して、その脳内の分布を撮影することで脳血流の分布を観察できます。脳血管障害、認知症の患者さまに特に有用な検査です。

(5) 脳波

脳の活動の記録を頭皮に貼り付けた電極で記録します。苦痛はありませんが、30～50分ほど時間がかかります。てんかんの診断には必須ですが、その他の疾患でも脳の活動性を見るために行います。

(6) その他

疾患の種類により心血管系の検査（心電図、ホルター心電図、心エコー）、筋電図（末梢神経障害、筋疾患、神経筋接合部疾患などに）、MIBG心筋シンチグラム（パーキンソン病が疑われるとき）なども行います。

5. 当院が力を入れている領域

(1) 頭痛

頭痛センター（頭痛専門の外来）を設けており、国内有数の規模で診療にあたっています。たくさんの患者さまを診るだけでなく、可能な限りデータベース化し、臨床的に有益となるような情報を得ながら一人ひとりに最適な治療を選択しています。外来では、科学的なデータに基づいた患者さま個人個人の状況を把握した、テーラーメイド医療に近い診療方針で、可能な限り日常生活が支障なく送れるように治療します。

(2) 脳血管障害

早期の診断治療の開始が何よりも大切ですが、発症後すみやかに適切なリハビリテーションを開始するなど慢性期の再発予防が重要と考えて診療しています。

(3) パーキンソン病

慢性的な神経変性疾患であり、神経難病の1つでありながら患者さまの数が多い病気です。体のこわばり感、安静時の震え、転びやすいなどの自覚症状で気がつかれますが、特に歩いている時のバランスが悪いなど歩行障害で起こることの多い病気です。当院では、類似する多数の神経系の病気との鑑別から治療まで行っています。治療は、薬物療法とリハビリテーションですが、経過が長い病気なのでじっくり付き合い、できるだけよい状態を保っていただけるように工夫しています。

(4) 認知症

認知症は、入院することで症状が悪化すること多い病気として知られています。このため、肺炎などの合併症で入院された場合は、肺炎の治療を行い、退院後も在宅で生活できることを目標として様々な支援をおこなっています。ソーシャルワーカーも参画し、最適な医療が受けられるように配慮しています。



神経内科 部長
濱田 潤一

頭痛教室レポート

平成26年3月1日（土）に、頭痛教室を開催いたしました。「片頭痛」をテーマに医師、薬剤師、看護師それぞれの立場から、「片頭痛はどのように起こるか」、「治療薬とその使い方」、「生活上の注意点」についてお話ししました。今回は、開催のお知らせから実施までの期間が短かったこともあり、当院に通院中の患者さまが対象となりましたが、それでも約20名の方々にご参加いただきました。アンケートも実施し、今後のテーマについても希望を伺いました。今後も開催をする予定ですので、準備が整い次第、改めてご案内させていただきます。



認知症の人と家族の集いのご案内

認知症は、ご本人にとってもご家族にとっても辛い病気です。疾患を理解し、効果的な治療や対応を行うため、医師、専門看護師が解説し、皆さまのご質問にお答えします。

開催日	平成26年7月5日（土）
時間	午前10時00分～午前12時00分
場所	3階セミナー室
対象	当院に通院中の方とご家族
参加費	無料
予約	不要

行事予定

■生活習慣病教室（無料）
開催日 平成26年7月12日（土）
時間 午前10時00分～午前11時30分
場所 3階セミナー室
定員 30名
申込方法
TEL 03-5791-6146
（予防医学センター）

■肝臓病教室（無料）
開催日 平成26年7月19日（土）
時間 午後1時30分～午後3時00分
場所 4階A会議室
定員 30名
申込方法
TEL 03-5791-6148
（美容医学）

■眼瞼下垂セミナー（無料）
開催日 平成26年7月25日（金）
時間 午後1時30分～午後3時00分
場所 4階AB会議室
定員 30名
申込方法
TEL 03-5791-6148
（美容医学）

■リビングウィルセミナー（有料）
開催日 平成26年8月2日（土）
時間 午前10時00分～午前12時00分
場所 4階AB会議室
受講料 2,000円（税抜）
定員 20名
申込方法
TEL 03-5791-6345
（予約センター）

白金キャンパス薬学部校舎・北里本館建替のお知らせ



▲新薬学部校舎・北里本館完成予想図

北里研究所病院のある北里大学白金キャンパスでは、今後約5年間に亘る北里本館と薬学部校舎の工事計画が開始されました。完成後には、低層と高層の新校舎が誕生し、特に14階建てとなる高層棟は白金キャンパスの新しいシンボルタワーとなります。

新校舎には講義室、図書館やアリーナをはじめ、北里柴三郎記念館も併設され、日本の医学研究の歴史と北里精神を紹介すると共に、北里精神を備えた優れた人材を育て、後世に継承していくための拠点となる予定です。

また、各棟に面した広場には防災備蓄倉庫等を併設し、北里研究所病院と共に地域の防災拠点としての役割も担う計画としています。

看護の日レポート



▲正面玄関の様子

毎年5月12日は、「看護の日」です。看護の心、ケアの心、助け合いの心を、老若男女を問わず誰もが育むきっかけになるように、近代看護を築いたナイチンゲールの誕生日にちなみ、1990年に制定されました。当院看護部も、看護の心が皆さまの心に届き、看護を身近に感じてもらう為に5月12日に病院1階正面入り口にて、アイデア満載のポスターによる看護部各部署紹介をはじめ、専門・認定看護師による看護相談を行いました。普段、人に話しにくい排泄トラブルやがんに関する内容の相談があり「こういう場があって良かった。」等のご意見が聞かれました。

今後とも、看護が身近な存在であるよう、いつでも声をかけやすい雰囲気づくりを心がけたいと思います。

看護相談▶



▲看護の日ポスター
【日本看護協会より提供】

◀アロマハンドマッサージ

第2回乳がんセミナーレポート

平成26年6月7日(土)に第2回乳がんセミナーを開催しました。今回のテーマは「身近に潜む病気のリスク」と題し、乳がん・子宮がん・卵巣がんのがん治療に関する最新情報や近年注目されている遺伝がんについて講演しました。

当日は約100名近い参加者が、講演内容に熱心に耳を傾けていました。また、講演後の質疑応答では講師と参加者の方々と活発なディスカッションが行われました。

プレストセンターでは、今後も継続してセミナーを開催し、乳がんの最新情報を分かりやすくお届けします。皆さまのご参加をお待ちしています。



講演会の様子

病院機能評価の認定 3rdG:Ver.1.0

認定をいただきました(平成26年5月2日)

「病院機能評価」とは、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する認定制度です。

医療サービスをはじめ、病院の組織や経営状態、施設・設備などが適切に実施されているかどうかを中立・公平な立場で審査を行い、一定の水準を満たしていると認められた病院に対して認定証が発行されます。

今回2回目の更新(5年ごと)として、平成26年2月19日～20日の2日間にかけて、日本医療機能評価機構よりサーベイヤー(審査員)を招いて実施し、5月2日に正式に更新認定されました。この更新に向け、病院全体で1年以上に渡って取り組んできました。



新任医師紹介

平成26年5月1日付

平成26年6月1日付



泌尿器科 医員
山下 英之
(やました ひでゆき)



呼吸器外科 部長
神谷 紀輝
(かみや のりき)



内科 後期研修医
坂間 玲子
(さかま れいこ)

退職医師紹介

平成26年4月1日付
平成26年4月30日付

前期研修医 福井 崇大
泌尿器科 嶺井 定嗣

前期研修医 志村 壮一郎

編集後記

5月31日、現国立競技場での最後のイベントが行われました。スポーツの聖地“国立”も建設から半世紀を過ぎ、平成32年の東京オリンピックに向けて建て替え計画が進んでいます。私も国立には特別な思い出があります。小学生の時、国立で開催されたJリーグ開幕式という歴史的瞬間に立ち会いました。キックオフのホイッスルが鳴った瞬間、怒涛のような大歓声とおびただしいフラッシュでスタジアム全体が高揚し、子供ながらに感動したことを今でも覚えています。さて、国立はこれからどのような姿に生まれ変わるのでしょうか。スポーツの素晴らしさを伝えてくれるスタジアムになることを願っています。(池田)

皆様のご意見をお待ちしております。

URL <http://www.kitasato-u.ac.jp/hokken-hp/>